

# ふすまえ 襖絵タイムカプセル

## しんげんごう れいわ おも ～新元号「令和」への思い～

新元号「令和」は、日本最古の歌集「万葉集」の「梅花の歌三十二首」の序文

しよしゆん れいげつ きよ かぜやわら うめ きょうぜん こ ひら らん はいご こう かおら

“初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す”

に拠り決定しました。

偕楽園と弘道館の梅は、創設者徳川齊昭の奨励で植えられました。このたび、弘道館において改元記念の5月1日限定で「襖絵タイムカプセル～新元号「令和」への思い～」を開催します。

偕楽園好文亭の襖絵の下張りとなる和紙に、「令和」の文字や梅花の絵を墨で書くイベントです。

お子様から大人の方まで楽しくご参加いただけます。

特別な日の思い出に、ぜひご参加ください！

5月1日(水・祝)

9:30～16:30

会場：弘道館

先着200組

参加費無料(入館料別途)

### “襖絵タイムカプセル”とは

偕楽園内にある好文亭襖絵の修理にあたり、襖絵の下張りとなる和紙に墨で絵や文字をかき、タイムカプセルとして次世代へとつないでいく企画です。

※墨や筆などの道具はご用意しております。

### ご参加の皆様にプレゼント！



\*ご参加をいただきました皆様には、絵葉書(偕楽園・弘道館2枚1組)または江戸時代の偕楽園を描いた「好文亭四季模様之図」クリアファイルをプレゼントさせていただきます。



### ～弘道館入館料～

小・中学生	100円
大人	200円